

フリーソフト(PDF 作成と編集・加工)

《2011(H23). 1. 23 パソコン勉強会》

2010(H22).12.17. T.Ogawa

PDF (Portable Document Format) は、1993 年にアドビ・システムズ社が開発した電子書類のファイルフォーマットであり、閲覧ソフトの Adobe Reader を無償公開したことで急速に普及した。この PDF は 2008 年に ISO 3200-1 として国際標準に制定された。

しかし、PDF 作成ソフト Adobe Acrobat が高価（数万円）であったため、安価な PDF 作成ソフトが出回る近年まで一般ユーザが PDF を作ることは稀であった。

2007 年春にリリースされた Office 2007 (Word 2007、Excel 2007 等) に PDF 作成機能が追加されたので PDF を手軽に作成できるようになり、個人が PDF を作成するようになった。しかし PDF に手を加える（テキストと図形の挿入、分割・結合・抽出等）ことは、まだまだ別世界の感がある。

勉強会では、フリーソフトを用いて、①Office 2003 以前の Office で PDF を作成する、②PDF にテキストや図形を入力する、③複数の PDF を結合する、PDF を複数の PDF に分割する、PDF から目的のページを抽出する等を行う方法を勉強する。ここで使用するフリーソフトは、XP、Vista、7 で動くとされているものから選択した。

目次

1. PDF の作成 (CubePDF)	1
1.1. 使用するフリーソフトの概要	1
1.2. CubePDF のダウンロードとインストール	2
1.3. CubePDF の操作手順	3
2. PDF へのテキスト・注釈・図形の挿入 (Foxit J-Reader)	4
2.1. 使用するフリーソフトの概要	4
2.2. Foxit J-reader のダウンロードとインストール	5
2.3. Foxit J-reader の操作手順	6
3. PDF の加工 (PDF Split and Merge basic)	10
3.1. 使用するフリーソフトの概要	10
3.2. PDF Split and Merge basic のダウンロードとインストール	11
3.3. PDF Split and Merge basic の操作手順	12
4. (参考資料) Adobe Reader と Adobe Reader X	19



1. PDF の作成 (CubePDF)

Office 2007 以降の Office は、[名前を付けて保存] 機能で [ファイルの種類] を「pdf (*.pdf)」に指定して保存を行うことで、作成した Word、Excel、Power Point 等の Office ファイルを PDF ファイルに変換して保存できるようになり、簡単に PDF ファイルを作れるようになった。

しかし、Office 2003 以前の Office は、このような機能がないため、Office 単独では PDF ファイルを作成できない。

ここで紹介するフリーソフトの CubePDF^{キューブ・ピーディーエフ}は、仮想プリンタとして印刷データを受け取り PDF ファイルに変換し保存するものであり、印刷機能を持つ Office 以外のソフトの印刷データからも簡単に PDF ファイルを作成できる。

1.1. 使用するフリーソフトの概要

【使用するプログラム】

ソフト名	CubePDF	Ver.0.9.3.1 β (2010.12.16 公開)
著作権者	株式会社キューブ・ソフト (国産ソフト)	
ダウンロード URL	http://www.cube-soft.jp/cubepdf/	
対応 OS	Win XP、Win Vista、Win 7 (32/64bit)	
注意事項	Microsoft .NET Framework 2.0 以上 が必要 (注)	

(注) 1. Windows の各バージョンへの Microsoft .NET Framework の組み込み状況

Win XP : .NET Framework 1.0 を OS に組み込み済

Win Vista : .NET Framework 2.0、3.0 を OS に組み込み済

Win 7 : .NET Framework 2.0、3.0、3.5 を OS に組み込み済

2. Windows XP で .NET Framework 2.0 以上が未インストールの場合

Windows Update の [カスタム] で表示されたリストから選択してインストールする
または次の URL をクリックし開いたページからダウンロードする

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=5b2c0358-915b-4eb5-9b1d-10e506da9d0f&DisplayLang=ja>

特徴と機能概要

① 仮想プリンタ機能

- ・プリンタとして指定された CubePDF は、仮想プリンタとして印刷データを受け取り、そのデータを PDF ファイルに変換し指定したフォルダに保存する。
- ・変換対象のファイルは、Word、Excel、Power Point などの他、印刷機能を持つアプリケーションであれば、その印刷データを PDF ファイルに変更し保存することができる。
- ・印刷データを PDF 以外 (JPEG、PNG、BMP、TIFF 等) のファイル形式に変換し保存することもできる。

② 既存 PDF ファイルへの結合機能

- ・出力ファイルとして既存の PDF ファイルを指定した場合は、
[先頭に結合] を指示すると既存 PDF ファイルの前に変換した PDF データを結合し、

[末尾に結合] を指示すると既存 PDF ファイルの後ろに変換した PDF データを結合する。

③ セキュリティ機能

- ・ ファイルを開く、ファイルを印刷する、テキストや画像をコピーするにパスワードを設定して、セキュリティを保護することができる。

④ フォントの埋め込み機能

- ・ PDF ファイルにフォントを埋め込むことができるので (既定)、そのフォントを持たない PC でも表示できる PDF が作れる。

1.2. CubePDF のダウンロードとインストール

1.2.1. CubePDF のダウンロード

Cube PDF のダウンロードサイトの URL は次のとおりである。

<http://www.cube-soft.jp/cubepdf/>

【手順】

- ① I.E.のアドレスバーに前記の URL を入力してダウンロードページに移動する
- ② [無料ダウンロード] をクリックするとセキュリティ警告が表示される
- ③ セキュリティ警告をクリックした後、表示されたメニューの [ファイルのダウンロード] をクリックし [ファイルのダウンロード] 画面を表示する
- ④ [保存] をクリックして、[名前を付けて保存] 画面を表示する
- ⑤ デスクトップに「CubePDF」フォルダを作成しそのフォルダを指定した後、[保存] をクリックしてプログラム (cubepdf-0.9.3.1b.exe) をダウンロードする
- ⑥ ダウンロードが [完了] したら、[閉じる] をクリックしてダウンロードを終了する



1.2.2. CubePDF のインストール

【手順】

- ① [CubePDF] フォルダ内の「cubepdf-0.9.3.1b.exe」をダブルクリックすると、[セキュリティ警告] 画面が表示される
- ② [実行] をクリックすると、[アカウント制御] 画面が表示される
- ③ [はい] をクリックして [Cube PDF セットアップ] 処理を始めると、[Cube PDF ウィザードの開始] 画面を表示する
- ④ [次へ] をクリックして [使用許諾契約書同意] 画面に進む
- ⑤ [同意する] ボタンをオンにした後、[次へ] をクリックして [インストール先の指定]



画面に進む

- ⑥ [次へ] をクリックして [プログラムグループの指定] 画面に進む
- ⑦ [次へ] をクリックして [Cube Toolbar をインストールする] 画面に進む
- ⑧ [利用承諾に同意してインストールする] の ✓ を外した後、
[次へ] をクリックして「インストール準備完了」画面に進む
- ⑨ [インストール] をクリックしてインストールを実行する
- ⑩ インストールが完了すると、[CubePDF セットアップウィザードの完了] 画面を表示する
- ⑪ [完了] をクリックして [Cube PDF セットアップ] 画面を閉じる
- ⑫ Adobe Reader が自動的に起動して [Cube PDF ユーザーズマニュアル] が表示されるので、必要に応じて印刷する。

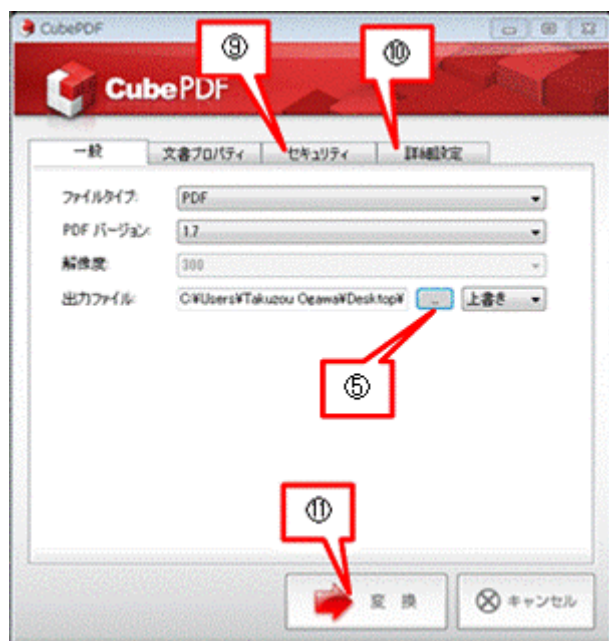
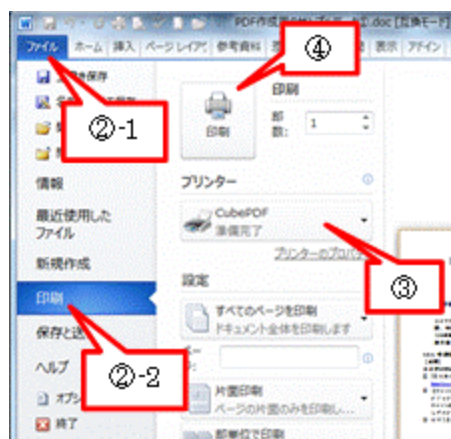
1.3. CubePDF の操作手順

ここでは、[CubePDF] を用いて、Word ファイルを PDF に変換し保存する手順について説明する。

ここでは変換対象データとして、Word 2003 の「101228 PDF 勉強用サンプルデータ.doc」を使用する。

[手順]

- ① Word を起動した後、Word から変換対象ファイル（例：101228 PDF 勉強用サンプルデータ.doc）を開く
- ② [ファイル] → [印刷] をクリックして [印刷] 画面に切り替える
- ③ [プリンタ] の ▼ をクリックして表示させたプリンター一覧から [CubePDF] を選択する
- ④ [印刷] をクリックすると [CubePDF] が起動されて、[CubePDF] 画面を表示する
- ⑤ [出力ファイル] 欄の (...) (参照) をクリックして [名前を付けて変更] 画面を表示する
(注) 既定の保存先は [ドキュメント]
- ⑥ 必要に応じて、保存先を変更する
- ⑦ 必要に応じて、ファイル名を変更する
- ⑧ [保存] をクリックして [CubePDF] 画面に戻る
- ⑨ PDF にパスワード (PDF の表示、印刷・コピー等の許可) を設定する場合は、
[セキュリティ] タブをクリックして切り替えた画面の該当項目に ✓ を付けた後、パスワードを入力する
(注) 既定ではパスワードは設定されていない



- ⑩ PDF ファイルの圧縮、フォントの埋め込み等を変更する場合は、
[詳細設定] タブをクリックして切り替えた画面で、必要な変更を行う
(注) 既定では [フォントの埋め込み] を設定
- ⑪ [変更] をクリックして PDF ファイルに変換し保存する
- ⑫ 保存が終了すると Adobe Reader が自動的に起動されて PDF が表示されるので、確認した後に終了する

2. PDF へのテキスト・注釈・図形の挿入 (Foxit J-Reader)

PDF が普及した現在は、申請書や申込書が PDF ファイルとしてネット上で配布されるようになってきた。これは PDF ファイルが国際規格になり、PDF ファイルを表示・印刷するフリーソフトの Adobe Reader がインストールされた PC が普及したからである。

しかし、PDF 規格で定められたインタラクティブフォーム (記入枠内にテキスト等の入力ができる形式) PDF が皆無に近いため、受け取った PDF ファイルを印刷し、それに手書きで必要事項を記入した後、ファックスあるいは郵送で送り返しているのが現状である。

ここで紹介するフリーソフトの フォクジット ジェイ リーダー Foxit J-Reader は、PDF ファイルを高速で閲覧するソフトであるが、その他の機能として表示した PDF ファイルにテキストを入力したり、図形 (例: ✓、○) を描いたりすることができる。

2.1. 使用するフリーソフトの概要

【使用するプログラム】

ソフト名	Foxit J-Reader	Ver.4.2 (2010.11.9 公開)
著作権者	Foxit Corporation、株式会社 フォクジット・ジャパン	
ダウンロード URL	http://www.foxitsoftware.com/japan/	
対応 OS	Win 7 (32/64bit)、Win Vista (32/64bit)、Win XP	
注意事項	特になし	

特徴と機能概要

① 高速・安全な PDF ビューワー機能

- ・ 「Foxit J-Reader」は、PDF を表示・印刷するための高速で高機能な PDF ビューワーである。
- ・ 悪意のある PDF ファイルからユーザを保護するため、PDF 閲覧に 5 段階のセキュリティが設定できるので安全性が高い。

② フォームへの記入機能

- ・ パソコン入力ができるインタラクティブフォームの PDF ファイルに対しては、自動検出した記入枠にテキスト等を直接入力できる。

(注) インタラクティブフォーム PDF は、受け取り側がテキスト等を入力できる形式の PDF をいう。語源は^{インタラクティブ}interactive (相互に作用する) であり、IT 関連では双方向的なコミュニケーションが存在する形式のファイル形式を指す。

- ・ 大半の PDF ファイルはパソコン入力できないノンインタラクティブフォームであるが、「Foxit J-Reader」のタイプライタツール機能を用いてテキストを入力することができる。

(注) 1. ノンインタラクティブフォーム PDF は、受け取り側がテキスト等を入力できない形式の PDF をいう。

2. Adobe Reader X (2010.11.19 公開) にはこの機能がない。

③ コメントの貼り付けその他の機能

- ・ コメントツール機能を用いて、PDF ファイルにコメント、付箋、図形 (円・矢印・線・四角形等)、下線・取り消し線・蛍光ペン等を挿入することができる。

(注) Adobe Reader X (2010.11.19 公開) にこれに類似した機能が追加された。

勉強会では、図形描画ツールの多角形線で項目に✓ (チェック) を付け、テキストを○ (楕円) で囲む機能を使用する

2.2. Foxit J-reader のダウンロードとインストール

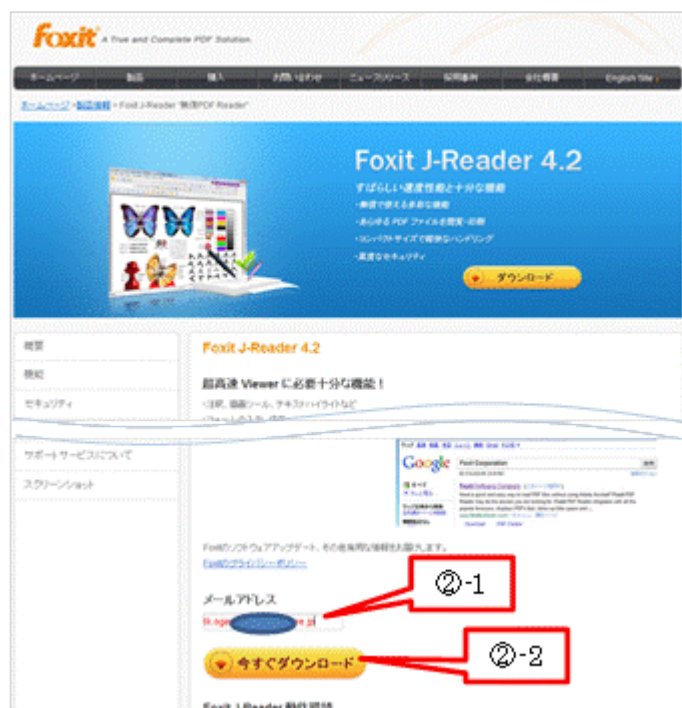
2.2.1. ダウンロード

Foxit J-Reader 4.2 のダウンロードサイトの URL は次のとおりである。

<http://www.foxitsoftware.com/japan/products/reader/downloads.php>

【手順】

- ① I.E.のアドレスバーに前記の URL を入力してダウンロードページに移動する
- ② メールアドレスを入力した後、[今すぐダウンロード] をクリックすると、セキュリティ警告が表示される
- ③ セキュリティ警告をクリックした後、表示されたメニューの [ファイルのダウンロード] をクリックして [ファイルのダウンロード] 画面を表示する
- ④ [保存] をクリックして [名前を付けて保存] 画面を表示する



- ⑤ デスクトップに「Foxit J-Reader」フォルダを作成しそのフォルダを指定した後、[保存] をクリックしてプログラム (FoxitReader42_jp.zip) をダウンロードする
- ⑥ ダウンロードが [完了] したら、[閉じる] をクリックしてダウンロードを終了する

2.2.2. インストール

【手順】

ダウンロードファイルの解凍

- ① ダウンロードした「FoxitReader42_jp.zip」をダブルクリックすると、[アカウント制御] 画面が表示される
- ② [はい] をクリックして ZIP ファイルを解凍すると、自動的に [FoxitJ-Reader42] フォルダが作られ、「Foxit J-Reader Setup.exe」と「お読みください.txt」が展開される

インストール

- ① [FoxitJ-Reader42] フォルダ内の「Foxit J-Reader Setup.exe」をダブルクリックすると、[アカウント制御] 画面が表示される
- ② [はい] をクリックすると、[Foxit J-Reader インストールウィザード] が起動して、[セットアップへようこそ] 画面が表示される
- ③ [次へ] をクリックし [ライセンス条項の確認] 画面を表示する
- ④ [...同意する] に ✓ を付けた後、[次へ] をクリックして [インストールタイプの選択] 画面を表示する
- ⑤ [すべての設定にデフォルトを使用 (推奨)] を選択した後、[次へ] をクリックして [トラストマネージャ] 画面を表示する
- ⑥ [セーフ読み込みを実行] に ✓ が付いていることを確認した後、[次へ] をクリックして [インストール] 画面を表示する
- ⑦ [インストール] をクリックしてインストールを実行する
- ⑧ インストールが終了すると、[セットアップを完了しました] 画面を表示する
- ⑨ [Foxit J-Reader を実行] と [Foxit J-Reader を既定の PDF リーダに設定] の ✓ を外した後、[完了] をクリックしてインストールを終了する



2.3. Foxit J-reader の操作手順

ここでは [Foxit J-Reader] を用いて、申込書の記入枠に必要な事項 (テキスト) を入力する手順、申込書の項目に印を付ける (チェック枠に ✓ を付ける、テキストを ○ で囲む) 手順について説明する。

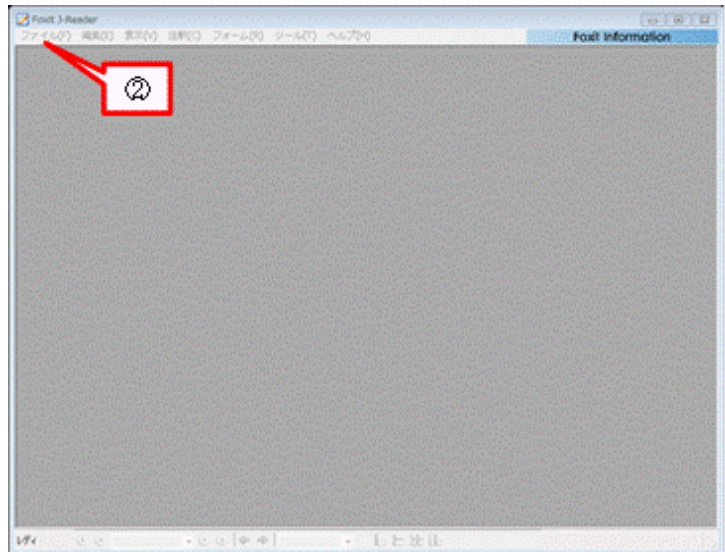
申込書のサンプルとして1章[PDFの作成]で作成した[101228 PDF 勉強用サンプルデータ.pdf]を使用する。

2.3.1. 申請書類へのテキストの入力



【手順】

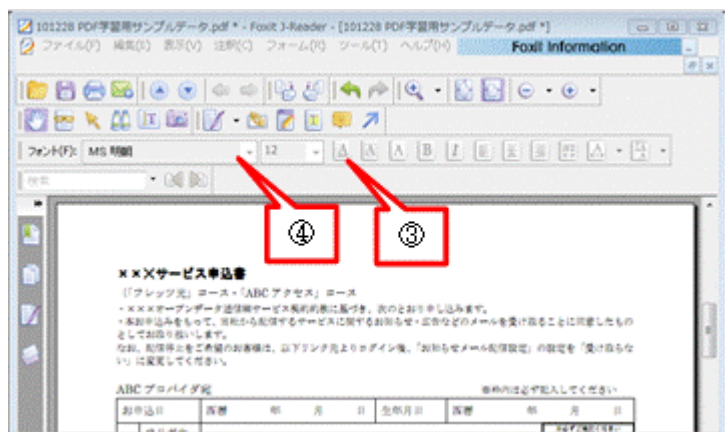
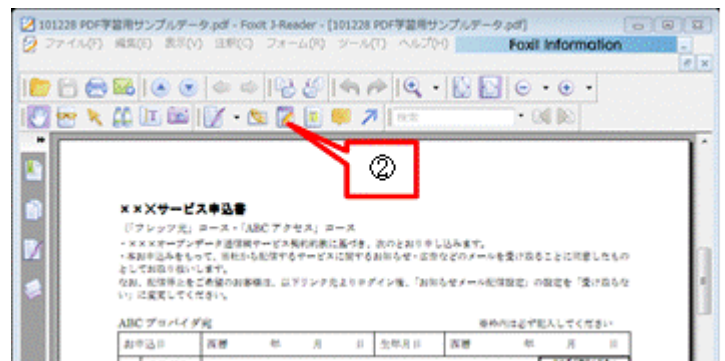
Foxit J-ReaderでPDFを開く

- ① [Foxit J-Reader] を起動する
- ② [ファイル] → [開く] をクリックし
[ファイルを開く] 画面を表示する
- ③ サンプルの PDF ファイル
(例：101228 PDF 勉強用サンプルデータ.pdf) をダブルクリックして開く



PDFへのテキスト入力

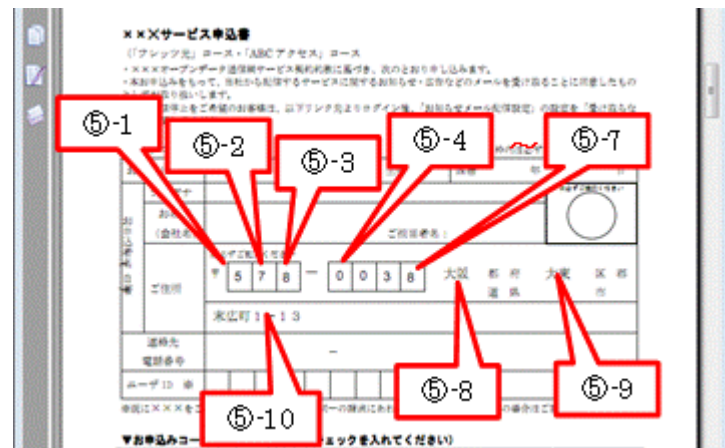
- ① スライダをドラッグしテキストや図形を挿入するページ (例：2 ページ目) を表示させる
- ② ツールバーの  (タイプライタツール) をクリックして [フォーマット] ツールバーを表示する
(注) [フォーマット] ツールバーは、Word の [書式設定] ツールバーに相当
- ③ ツールバーの  (テキストの色) をクリックして色パレットを表示し、黒色に変更する
(注) テキストの色の初期値は青色
- ④ ツールバーの [フォント] の ▼ をクリックしてフォント一覧を表示し、[MS 明朝] を選択する



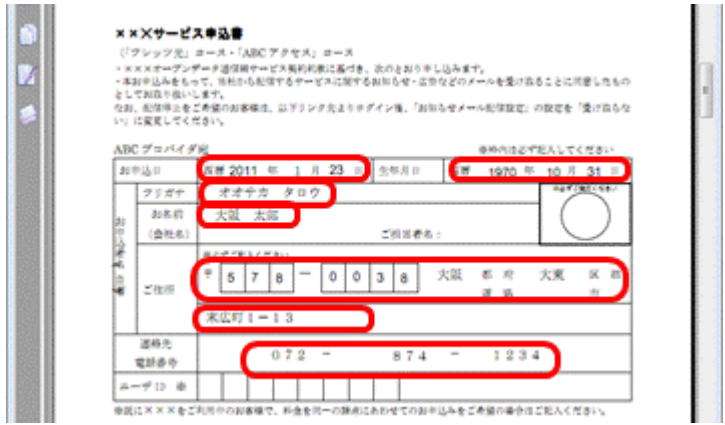
- ⑤ それぞれのテキスト入力位置をクリックしてカーソルを表示した後、テキストを入力する

[ご住所] 欄への記入例

- ⑤-1～⑤-7：「5」、「7」、「4」、
「0」、「0」、「3」、「6」、
- ⑤-8、⑤-9：「大阪」、「大東」、
- ⑤-10：「末広町 1-13」



- ⑥ 以下、同様にして必要事項を入力する
- ⑦ すべての必要事項へのテキスト入力が終わった後、
[ファイル] → [名前を付けて保存] をクリックして [名前を付けて保存] 画面を表示する
- ⑧ ファイル名を変更 (例: 101228 PDF 勉強用サンプルデータ (記入後).pdf) した後、
[保存] をクリックして変更後のファイルを保存する



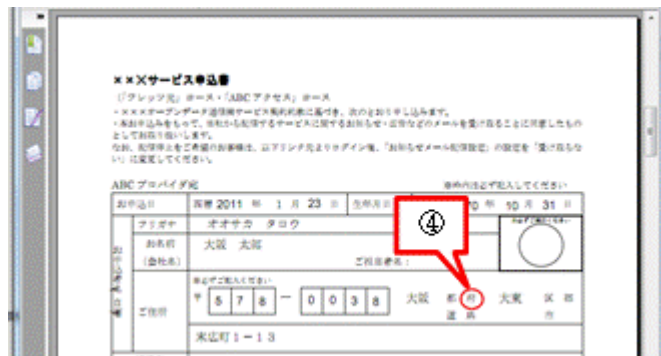
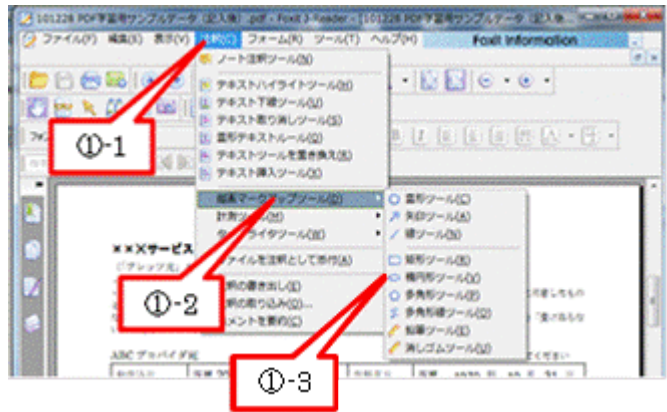
2.3.2. 申請書類の項目を選ぶ (文字を○で囲む、項目に✓を付ける)

【手順】

【描画機能で文字を○で囲む】

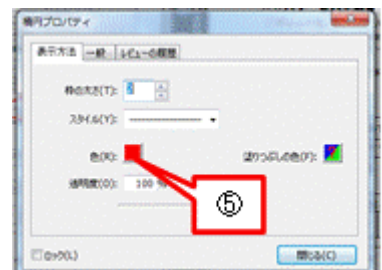
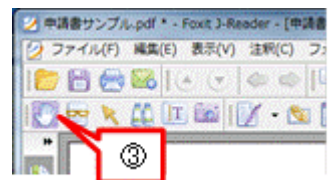
描画機能で○を描く

- ① [注釈] → [描画マークアップツール] → (楕円ツール) クリックしポインタを+に変える
- ② 楕円で囲むテキストの左上から右下にドラッグして楕円を描く
(補足) Word と全く同じ方法





線の色を黒色に変える

- ③ (手のひらツール) をクリックした後、描いた図形を右クリックしてメニューを表示する
- ④ [プロパティを開く] をクリックして [楕円プロパティ] 画面を表示する
- ⑤ [色] をクリックして色パレットを表示する
- ⑥ 目的の色 (例: 黒色) を選択した後、[閉じる] をクリックして図形の線の色を変える
(注) 線の色初期値は赤色




【描画機能で 項目の□に✓を付ける】

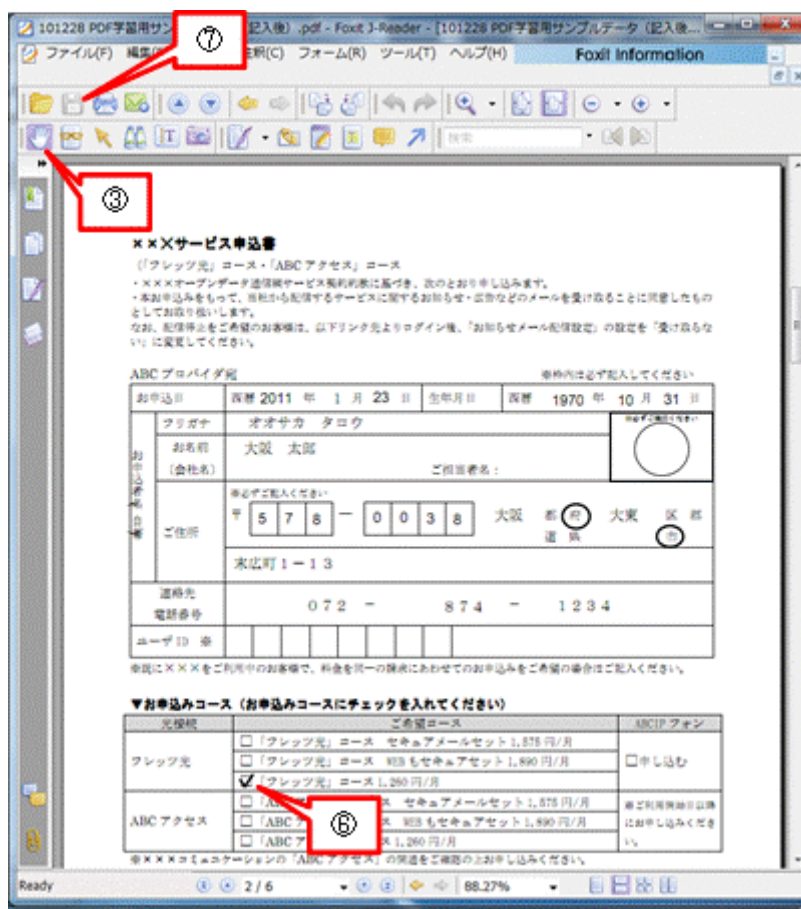
****描画機能で ✓ を描く****


- ① [注釈] → [描画マークアップツール]
→  (多角形線ツール) クリックしてポインタを+に変える
- ② 初めに左上をクリックして描画を開始し、次に谷にあたる中央の下をクリックした後、最後に右上をダブルクリックして ✓ を描く
(補足) Word の  (フリーフォーム) と全く同じ方法



****線の色を黒色に変える****

- ③  (手のひらツール) をクリックした後、描いた図形を右クリックしてメニューを表示する
- ④ [プロパティを開く] をクリックして [折れ線プロパティ] 画面を表示する
- ⑤ [色] をクリックして色パレットを表示する
- ⑥ 目的の色 (例：黒色) を選択した後、[閉じる] をクリックして図形の線の色を変える



- ⑦ すべての図形描画が終了した後、 (上書き保存) をクリックして記入後の PDF ファイルを保存する

3. PDF の加工（PDF Split and Merge basic）

PC にフリーソフトの Adobe Reader が入っていれば、PDF ファイルの表示や印刷ができるが、PDF ファイルの加工（結合、分割、抽出、回転、並べ替え等）はできない。

ここで使用するフリーソフトの PDF Split and Merge basic（略称、PDFsam）は、PDF ファイルの結合、PDF ファイルの分割、PDF の加工（ページの回転、ページの削除、ページの並び替え等）ができる。また、PDF ファイルにパスワードを設定あるいは解除することができる。

3.1. 使用するフリーソフトの概要

【使用するプログラム】

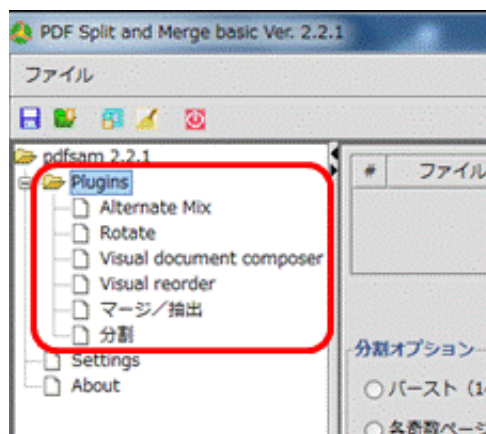
ソフト名	PDF Split and Merge basic	Ver.2.2.1（2010.11.21 公開）
著作権者	Andrea Vacondio 氏	
ダウンロード URL	http://www.forest.impress.co.jp/lib/dl/p/pdfsplitmrg/pdfsam-win-v2_2_1.exe_dl.html	
対応 OS	Win 7（32/64bit）、Win Vista、Win XP	
注意事項	特になし	

特徴と機能概要

PDF Split and Merge basic basic の機能は、6 種類の Plugins（プラグイン：画面左側に表示したメニューをこう呼んでいる）で構成されている。このプラグイン（メニュー）をクリックして画面を切り替え目的の加工を行う。

よく使うものだけ日本語化されているのはご愛嬌！

- ① **Alternate Mix**（ページを交互に混合）
 - ・ 2 個の PDF ファイルのページを交互に混ぜ合わせる
- ② **Rotate**（ページを回転）
 - ・ 複数の PDF ファイルの全ページを回転する
 - ・ 回転角度は、90°、180°、270° が指定できる
 - ・ 回転対象ページは、All（ファイル内の全ページ）、EVEN（同偶数ページ）、ODD（同奇数ページ）が指定できる
- ③ **Visual document composer**（視覚的に文書を構成変更）
 - ・ ④の Visual reorder と⑤のマーシ／抽出を組み合わせたような機能
 - ・ 複数の PDF ファイル内のページの縮小版を見ながら、任意のページを選択して 1 個の PDF ファイルに結合する
 - ・ 結合するページを回転、移動することができる
- ④ **Visual reorder**（視覚的に再整理）・・・3.3.4 項で説明する
 - ・ PDF ファイル内のページの縮小版を見ながら、任意のページを回転、削除、移動して PDF ファイルを加工する



- ⑤ マージ/抽出 (Merge/Extract)・・・マージを 3.3.2 項、抽出を 3.3.4 項で説明する
 - ・ 複数の PDF ファイルを結合して 1 個の PDF ファイルを作る
 - ・ PDF ファイルのページを抽出し 1 個の PDF ファイルを作る
- ⑥ 分割 (Split)・・・3.3.1 項で説明する
 - ・ PDF ファイルを分割して複数の PDF ファイルを作る
 - ・ 分割方法には、ページ単位の分割、指定ページの次から 2 分割、ページ数単位の分割、サイズ単位の分割がある

3.2. PDF Split and Merge basic のダウンロードとインストール

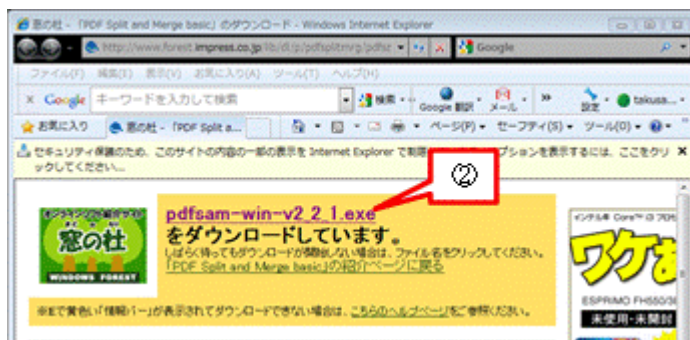
3.2.1. ダウンロード

PDF Split and Merge basic のダウンロードサイトの URL は次のとおりである。

http://www.forest.impress.co.jp/lib/dl/p/pdfsplitmrg/pdfsam-win-v2_2_1.exe_dl.html

【手順】

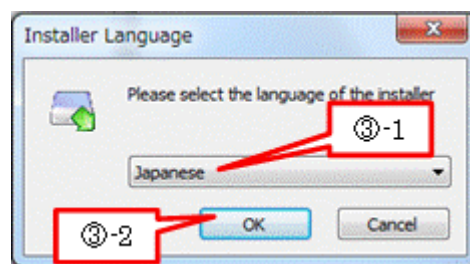
- ① I.E.のアドレスバーに前記の URL を入力してダウンロードページに移動する
- ② [pdfsam-win-v2_2_1.exe] をクリックすると、[セキュリティの警告] 画面を表示する
- ③ [保存] をクリックして [名前を付けて保存] 画面を表示する
- ④ デスクトップに「PDF Split and Merge」フォルダを作成しそのフォルダを指定した後、[保存] をクリックしてプログラム (pdfsam-win-v2_2_1.exe) をダウンロードする
- ⑤ ダウンロードが [完了] したら、[閉じる] をクリックしてダウンロードを終了する
- ⑥ ✕で I.E.を終了する



3.2.2. インストール

【手順】

- ① [PDF Split and Merge] フォルダ内の「pdfsam-win-v2_2_1.exe」をダブルクリックすると、[ユーザーアカウント制御] 画面が表示される
- ② [はい] をクリックすると、[Installer Language (インストール言語)] 画面を表示する
- ③ [Japanese (日本語)] であることを確認した後 [OK] をクリックして [pdfsam セットアップウィザードへようこそ] 画面を表示する



- ④ [次へ]をクリックして[ライセンス契約書]画面に進む



- ⑤ [同意する] をクリックして [Choose Installation Options (インストールオプションの選択)] 画面に進む・・・英語のライセンス条件を翻訳して確認しなかった (ダメかな?)
- ⑥ [次へ] をクリックして [インストール先の選択] 画面に進む
- ⑦ [次へ] をクリックして [スタートメニューフォルダの選択] 画面に進む
- ⑧ [インストール] をクリックしてインストールを実行する
- ⑨ インストールが完了すると、[インストールの完了] 画面が表示される
- ⑩ [次へ] をクリックして [pdfsam セットアップウィザード完了] 画面に進む
- ⑪ [完了] をクリックして画面を閉じる

3.3. PDF Split and Merge basic の操作手順

PDF Split and Merge basic は、多くの機能を持つ PDF ファイルの加工ソフトであるが、勉強会では、3.3.1 項で [PDF ファイルの分割]、3.3.2 項で [PDF ファイルの結合]、3.3.3 項で [PDF ファイルからのページ抽出]、3.3.4 項で [PDF のページ再整理] について説明する。

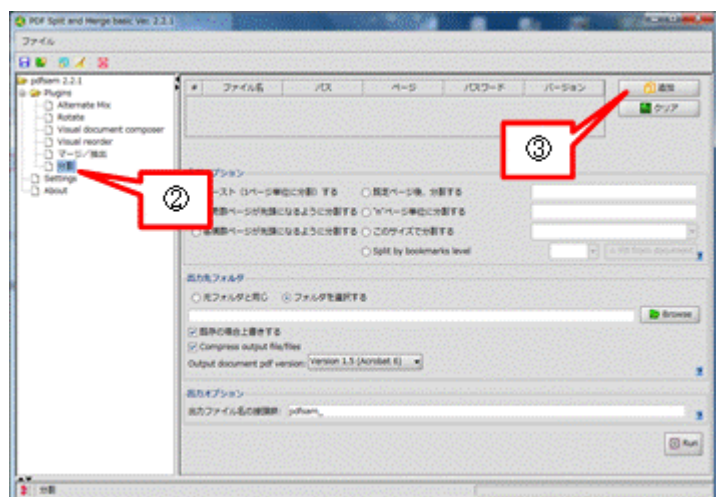
3.3.1. PDF ファイルの分割

PDF Split and Merge basic での PDF ファイルの分割には、多くのバリエーション (1 頁単位の分割、指定ページの次から 2 分割、ページ数単位の分割、サイズ単位の分割等) がある。ここでは、サンプルの PDF ファイルを 2 ページ目までと残りのページに 2 分割する例を説明する

ここでは分割対象のファイルとして、2 章 [PDF へのテキストと図形の挿入] で変更し保存した [101228 PDF 勉強用サンプルデータ (記入後) .pdf] を使用する。

【手順】

- ① [スタート] → [PDF Split and Merge] → [pdfsam] をクリックして、[PDF Split and Merge basic] を起動する
- ② メニュー (Plugins) の [分割] をクリックして [分割] 画面に切り替える
- ③ [追加] をクリックして [開く] 画面を表示する

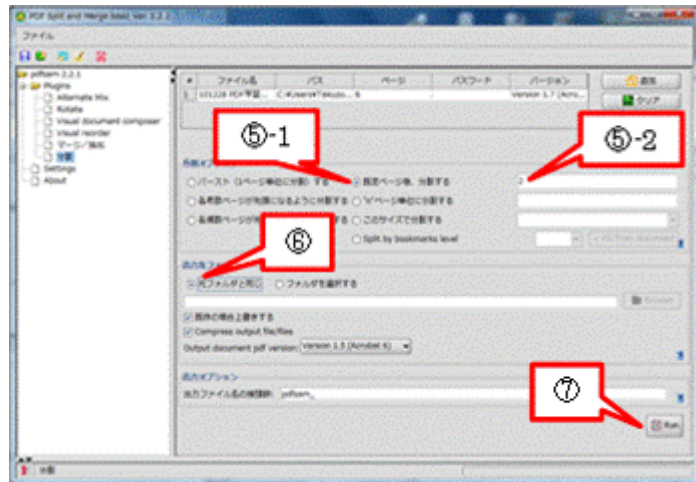


- ④ 目的の PDF ファイル（例：101228 PDF 勉強用サンプルデータ（記入後）.pdf）を選択した後、
[開く] をクリックして [開く] 画面を閉じる



- ⑤ [規定ページ後、分割する] をオンにした後、
右横の入力枠に分割するページ番号（例：2）を入力する

- ⑥ [出力先フォルダ] 横の [元フォルダと同じ] をオンにする
(注) [フォルダを選択する] をオンにした後、[Browse] をクリックして [開く] 画面を表示すると任意の出力先フォルダを選択できる



- ⑦ [Run] をクリックして PDF ファイルの分割を実行する
⑧ 処理が終了すると、画面の右下に [100%] が表示されるので、×で画面を閉じる



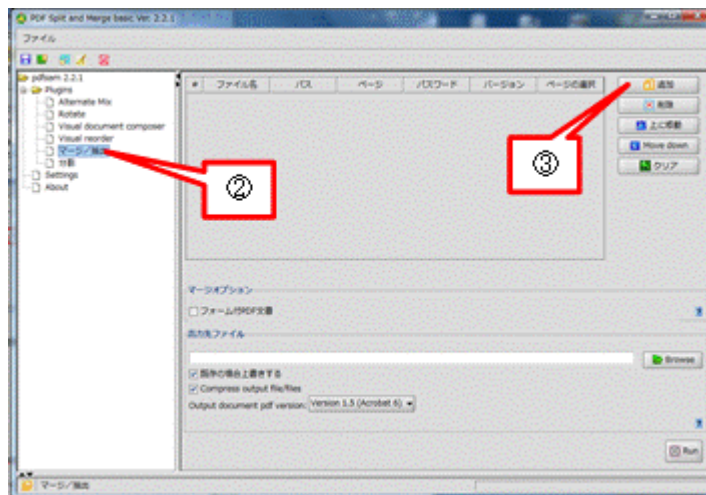
3.3.2. PDF ファイルの結合（マージ）

PDF Split and Merge basic のマージ機能は、複数の PDF ファイルを 1 個の PDF ファイルに結合する機能であり、抽出機能（PDF ファイルの一部を抽出して PDF ファイルを作る）の画面と共通である。

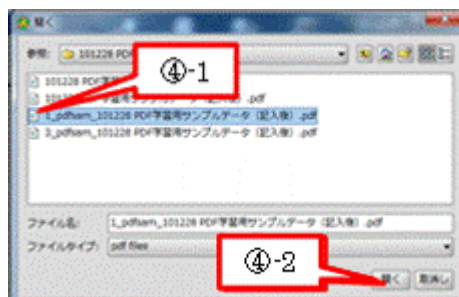
ここでは結合対象ファイルとして、3.3.1 項 [PDF ファイルの分割] で 2 分割し保存した、
[1_pdfsam_PDF ファイル（101228 PDF 学習用サンプルデータ（記入後）.pdf）] と
[3_pdfsam_PDF ファイル（101228 PDF 学習用サンプルデータ（記入後）.pdf）] を使用する。

【手順】

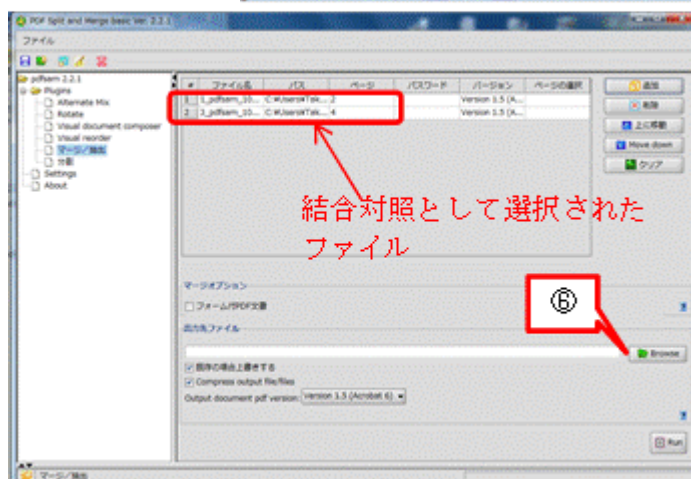
- ① [スタート]→[PDF Split and Merge]
→ [pdfsam] をクリックして、
[PDF Split and Merge basic] を起動
する
- ② メニュー (Plugins) の [マージ/抽出]
をクリックして [マージ/抽出] 画面
に切り替える
- ③ [追加] をクリックして [開く] 画面
を表示する



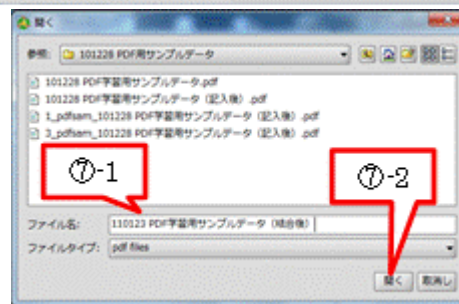
- ④ 1 個目の PDF ファイル (例 : 1_pdfsam_101228 PDF 勉強
用サンプルデータ (記入後) .pdf) を選択した後、
[開く] をクリックして [開く] 画面を閉じる
- ⑤ 手順③~④と同様にして、
2 個目の PDF ファイル (例 : 3_pdfsam_101228 PDF 勉強
用サンプルデータ (記入後) .pdf) を追加する



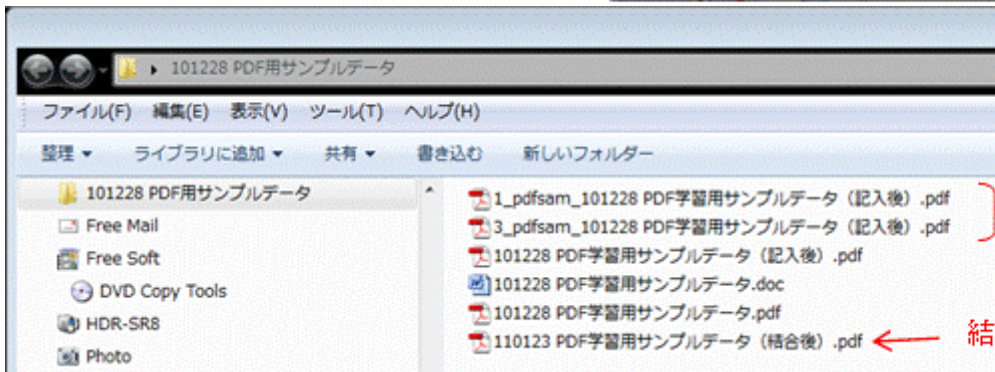
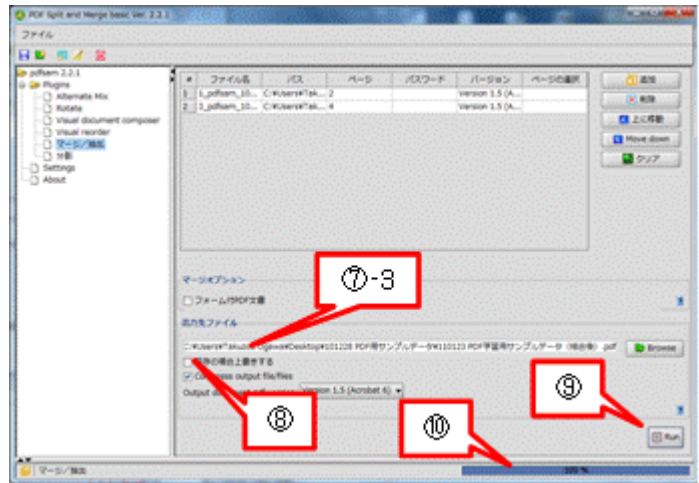
- ⑥ [出力先ファイル] 欄の [Browse] を
クリックして [開く] 画面を表示する



- ⑦ 結合後のファイル名 (例 : 110123 PDF 学習用サンプ
ルデータ (結合後) .pdf) を入力した後、
[開く] をクリックして [開く] 画面を閉じると、[出力先
ファイル] 欄にパスが表示される



- ⑧ [既存の場合上書きする] の ✓ を外す
- ⑨ [Run] をクリックして PDF ファイルの分割を実行する
- ⑩ 処理が終了すると、画面の右下に [100%] が表示されるので、**×** で画面を閉じる



← 結合対象の2個の PDF ファイル

← 結合された PDF ファイル

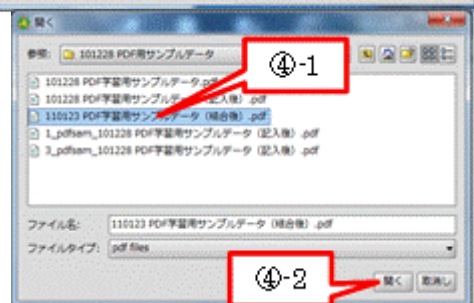
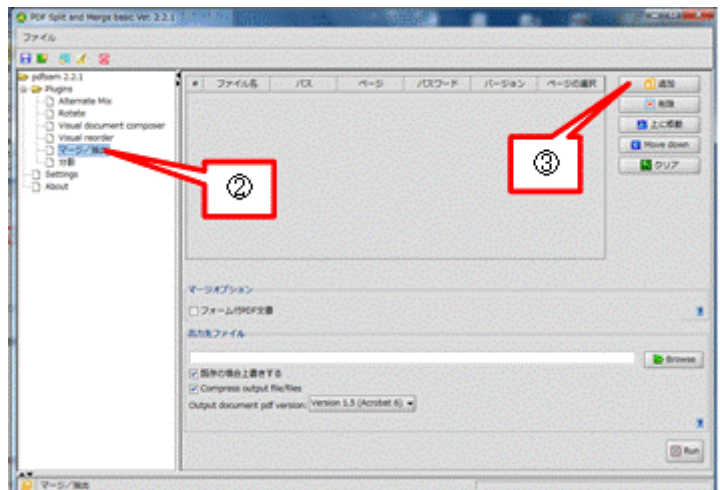
3.3.3. PDF ファイルからのページ抽出

PDF Split and Merge basic の抽出機能は、PDF ファイルの一部のページを抽出して PDF ファイルを作る機能であり、結合機能（複数の PDF ファイルを1個の PDF ファイルに結合する）の画面と共通である。

ここでは抽出対象ファイルとして、3.3.2 項 [PDF ファイルの結合] で結合し保存した [110123 PDF 学習用サンプルデータ（結合後）.pdf] を使用する。

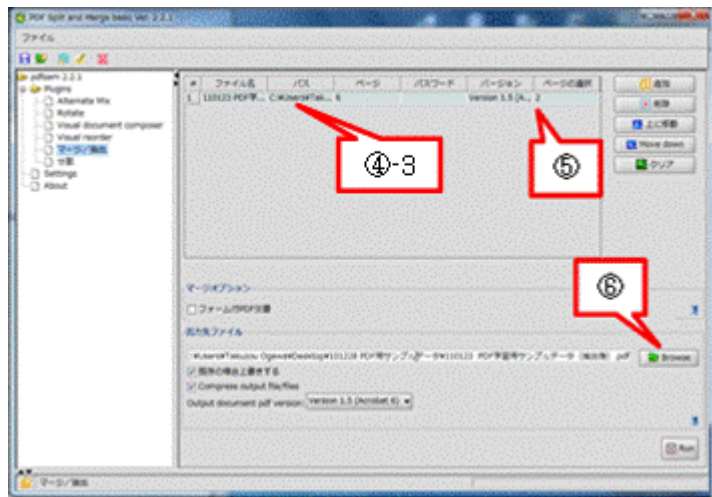
【手順】

- ① [スタート] → [PDF Split and Merge] → [pdfsam] をクリックして [PDF Split and Merge basic] を起動する
- ② メニュー (Plugins) の [マージ/抽出] をクリックして [マージ/抽出] 画面に切り替える
- ③ [追加] をクリックして [開く] 画面を表示する
- ④ 抽出対象の PDF ファイル（例：10123 PDF 学習用サンプルデータ（結合後）.pdf）を選択した後、[開く] をクリックして [開く] 画面を閉じる

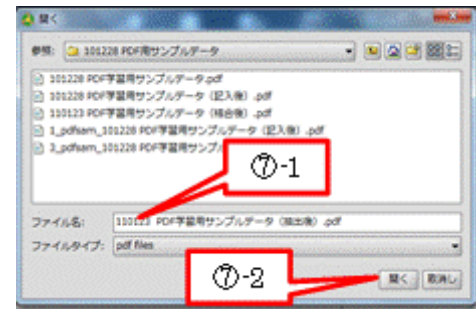


⑤ [ページ選択] 欄に抽出するページ番号 (例: 2) を入力する

⑥ [出力先ファイル] 欄の [Browse] をクリックして [開く] 画面を表示する



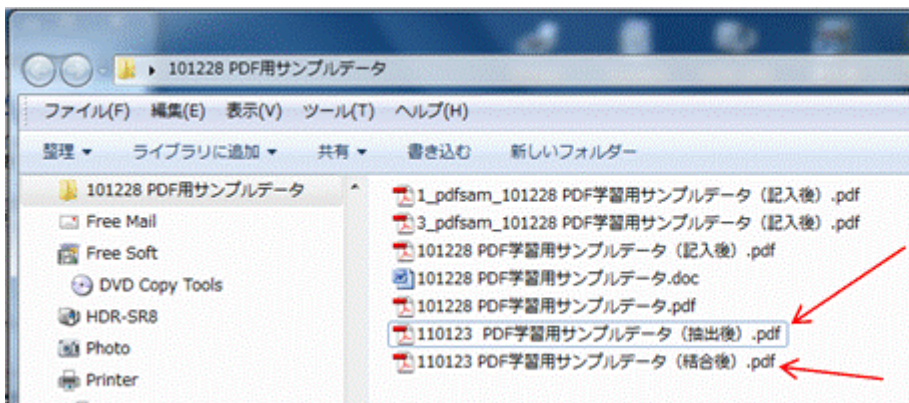
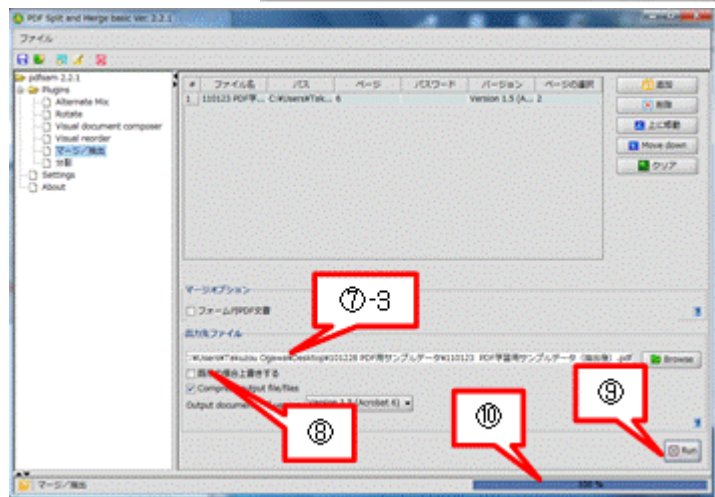
⑦ 抽出後のファイル名 (例: 110123 PDF 学習用サンプルデータ (抽出後) .pdf) を入力した後、 [開く] をクリックして [開く] 画面を閉じると、 [出力先ファイル] 欄にパスが表示される



⑧ [既存の場合上書きする] の を外す

⑨ [Run] をクリックして PDF ファイルからのページ抽出を実行する

⑩ 処理が終了すると、画面の右下に [100%] が表示されるので、 で画面を閉じる



指定したページを抽出した PDF ファイル

抽出対象の PDF ファイル

3.3.4. PDF のページ再整理（回転・削除・移動）

PDF Split and Merge basic のページ再整理機能として、Visual Reorder（視覚的に再整理）、Visual document composer（視覚的に文書を構成変更）、Rotate（回転）等がメニュー（プラグイン）として準備されている。

ここでは、あまり使われないので日本語化されていない Visual Reorder（視覚的に再整理：PDF の縮小版ページを指定して、回転・削除・並べ替える機能）について説明する。

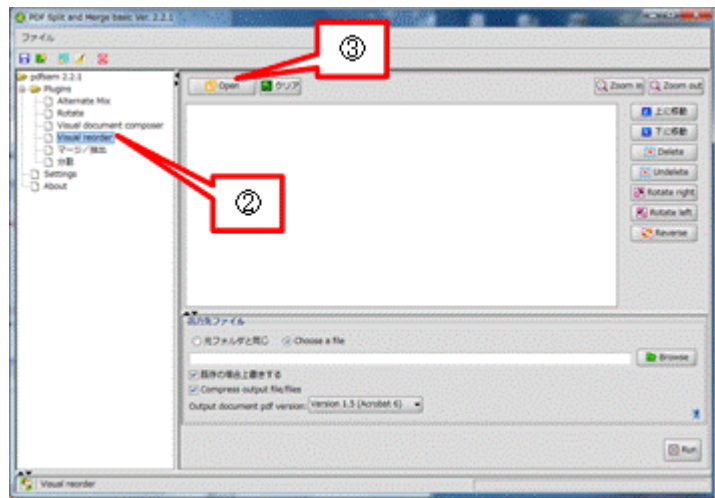
この機能は書類をスキャナで取り込んだ PDF ファイルのページの向きを変えたり、不要なページを削除したり、ページを並べ替えたりするケースなどで使用できる。

ここでは再整理対象ファイルとして、3.3.2 項 [PDF ファイルの結合] で結合し保存した [110123 PDF 学習用サンプルデータ（結合後）.pdf] を使用する。

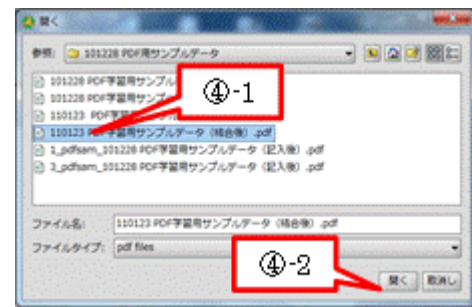
【手順】

** ページ再整理の準備 **

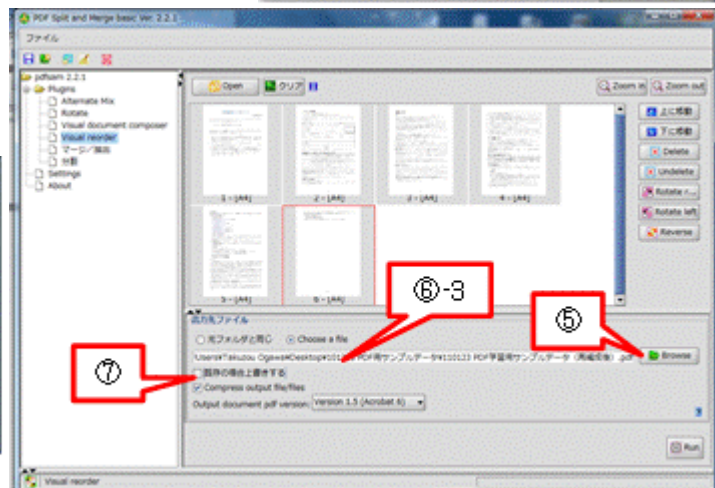
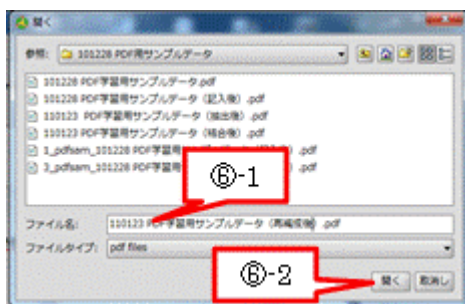
- ① [スタート] → [PDF Split and Merge] → [pdfsam] をクリックして、[PDF Split and Merge basic] を起動する
- ② メニュー (Plugins) の [Visual Reorder] をクリックして [Visual Reorder] 画面に切り替える
- ③ [Open] をクリックして [開く] 画面を表示する



- ④ 再整理対象の PDF ファイル（例：110123 PDF 学習用サンプルデータ（結合後）.pdf）を選択した後、[開く] をクリックして [開く] 画面を閉じると [Visual Reorder] 画面にページ（縮小版）が表示される



- ⑤ [出力先ファイル] 欄の [Browse] をクリックして [開く] 画面を表示する



⑥ 再整理後のファイル名（例：110123 PDF 学習用サンプルデータ（再整理後）.pdf）を入力した後、

[開く] をクリックし [開く] 画面を閉じると、[出力先ファイル] 欄にパスが表示される

⑦ [既存の場合上書きする] の を外す

** ページ再整理の設定と実行 **

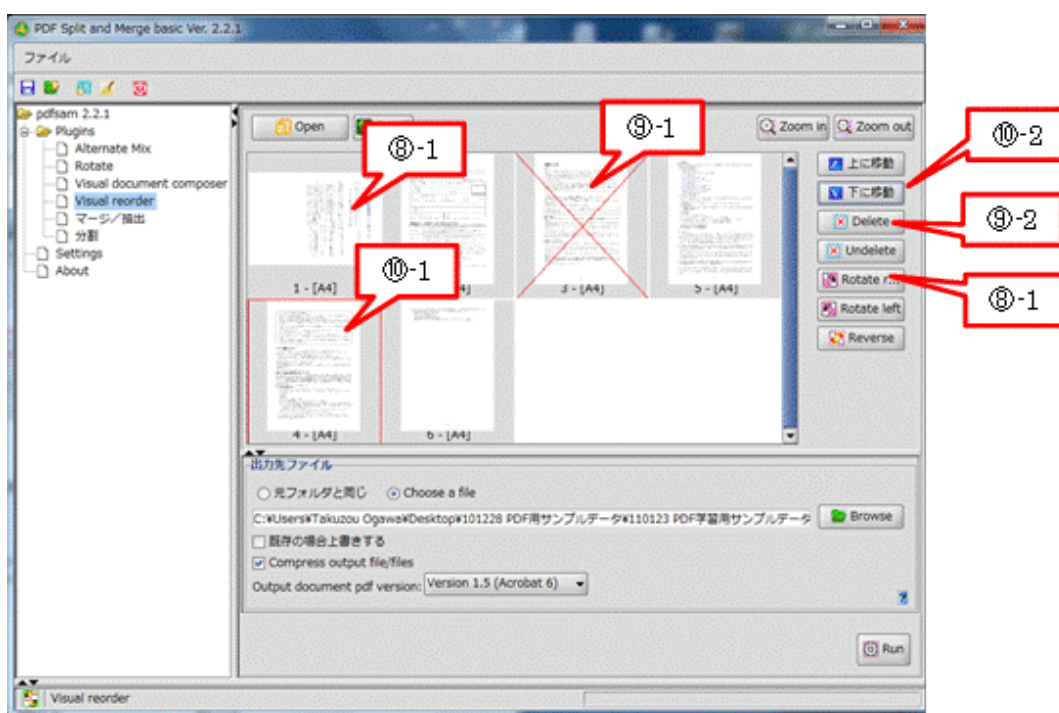
ページ再整理の例として、次の設定を行う

- 1 ページ目を横向きに右回転する
- 3 ページ目を削除する
- 4 ページ目と 5 ページ目を並べ替える

⑧ 縮小版の 1 ページ目を選択し、[Rotate right] をクリックして右に 90° 回転する

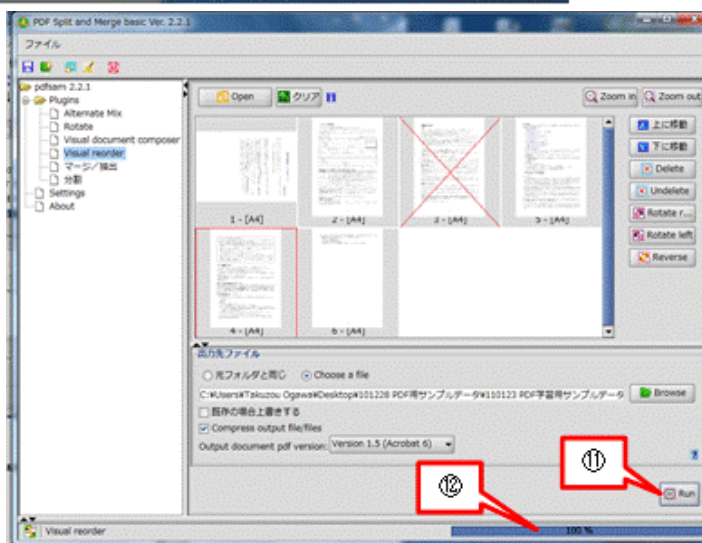
⑨ 縮小版の 3 ページ目を選択し、[Delete] をクリックして削除マークを付ける

⑩ 縮小版の 4 ページ目を選択し、[下に移動] をクリックして 4 ページ目の順番を 1 つ下げる



⑪ [Run] をクリックして PDF ファイルの分割を実行する

⑫ 処理が終了すると、画面の右下に [100%] が表示されるので、 で画面を閉じる



4. (参考資料) Adobe Reader と Adobe Reader X

PDF の普及は前述のとおり、PDF を開発したアドビ・システムズ社が閲覧ソフトの^{アドビ リーダー}Adobe Reader を無償公開したことにあり、Adobe Reader はバージョンアップを重ねてきた。

バージョン 1～5は Adobe Acrobat Reader であったが、バージョン 6以降は Adobe Reader に改称されて現在に至っている。

メインバージョンと公開日

- Adobe Acrobat Reader 1.0 (1993 年公開)
- Adobe Acrobat Reader 2.0 (1994 年公開)
- Adobe Acrobat Reader 3.0 (1997.5 公開)
- Adobe Acrobat Reader 4.0 (1999.7 公開)
- Adobe Acrobat Reader 5.0 (2001.4 公開)
- Adobe Reader 6.0 (2003.5 公開)
- Adobe Reader 7.0 (2004.12 公開)
- Adobe Reader 8.0 (2006.11 公開)
- Adobe Reader 9.0 (2008.7 公開)
- Adobe Reader 10.0 (公開日: 2010.11.19)・・・ Adobe Reader X

Adobe Reader 9

- 最新バージョン (2010.12.31 現在) :
Adobe Reader 9 (Ver. 9.4.1、2010.11.16 公開)
(参考) 次回アップデート予定日 2011(H23).2.8
- 主な機能 : PDF ファイルの表示、検索、印刷

Adobe Reader X

- 最新バージョン (2010.12.31 現在) :
Adobe Reader X (Ver. 10.0.0、2010.11.19 公開)
- 主な機能 : PDF ファイルの表示、検索、印刷、
ハイライト機能 (テキストに蛍光ペンで色を塗る)
ノート注釈機能 (チェック、円形、吹き出し等を記入する) } 新規追加機能

(注) Adobe Reader X が持たない「テキスト入力機能」を持つ Foxit J-Reader が 10 日前 (2010.10.9) に公開されたばかりであり、Adobe Reader X の公開がかすんだ感がある。

おつかれさまでした